

令和7年度山梨県普及センターだより（1月号）

### 農福連携の取組みを推進しています

峡南地域普及センター

「農福連携」とは、農業と福祉が連携し、障害のある方々が農業分野で活躍することを通じて、農業経営の発展とともに障害のある方々の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組です。

これにより、障害のある方々にとっては、収入の向上はもちろん、豊かな自然の中で土に触れることによる精神的な安定を得る効果が期待されています。加えて、受け入れる農家にとっても忙しい時期の人手不足の解消を図ることができます。

そこで、峡南農務事務所では、福祉施設に委託を希望する農作業需要の掘り起こしや、農業者と福祉施設のマッチングの支援に力を入れています。今年度は、ナスやキュウリの袋詰めや、エゴマの収穫作業、ブドウ栽培で使用したカサの洗浄といった作業でマッチングが成立し、新しい農福連携が始まりました。

さらに、地域の特産品を利用した加工品開発においても、材料の一次加工等について農福連携を活用した取組の支援を行っています。これまで、市川三郷町産のスイートコーンを利用した炊き込みご飯の素やパスタソースを開発した例があり、福祉施設が運営するカフェやイベントを通して販売されています。

今後も、すべての住民が主体的に参画し、繋がることで暮らしに安心、生きがい、豊かさを生み出す地域共生社会を目指し、障害のある方々の一層の社会参画を促進することで、峡南地域の特色ある農業の維持発展に繋げて参ります。



エゴマの収穫作業の様子



市川三郷町産スイートコーンのパスタソース